

安全データシート

作成日 2017年2月14日

改訂日 2024年12月10日

1. 製品及び会社情報

製品名 ステアリン酸 1865 (Stearic Acid 1865)

供給者の会社名称 アーク株式会社

住所 大阪市中央区安土町 3-5-13

本町ガーデンシティテラス 3階

電話番号 06-6563-7710

FAX 番号 06-6563-7720

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 JIS Z 7252、7253 : 2019 使用

物理化学的危険性 該当する区分なし

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性 区分 2

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 区分 2A

環境に対する有害性 該当する区分なし

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 警告

危険有害性情報 皮膚刺激、強い眼刺激

注意書き

- 【安全対策】 取扱い後はよく手を洗うこと。
保護手袋および保護眼鏡、保護面を着用すること。
- 【応急措置】 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを容易にはずせる場合は外して洗うこと。
その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

3. 組成、成分情報

化学物質／混合物の区別 化学物質

化学名又は一般名 ステアリン酸

化学式 C₁₈H₃₆O₂

CAS 番号 57-11-4

官報公示整理番号

化審法 (2)-608

安衛法 2-(4)-932

成分 ステアリン酸：63-68%

パルミチン酸 (Palmitic Acid) (CAS NO.57-10-3)：30-36%

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。

多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

目に入った場合 水で数分間注意深く洗うこと。

コンタクトレンズを容易にはずせる場合は外して洗うこと。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

口をすすぐこと。

最も重要な徴候及び症状 咳、息苦しさ、便秘、発赤、痛み

応急措置をする者の保護 救助者はゴム手袋、密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤 粉末、泡、水噴霧、二酸化炭素

特有の消火方法 消火作業は、風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

周辺火災時、移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

消火を行う者の保護 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 個人用保護具を着用する。

漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。

漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。

環境に対する注意事項：製品が排水路に排出されないよう注意する。

封じ込め及び浄化の方法

- ・機材 粉塵の飛散に注意しながら掃き集め、密閉容器に回収する。
付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 取扱いは換気のよい場所で行う。

適切な保護具を着用する。

粉塵が飛散しないように注意する。

取扱い後は手や顔などをよく洗う。

注意事項 粉塵やエアゾールが発生する場合には、局所排気を用いる。

安全取扱い注意事項 皮膚、眼および衣類との接触を避ける。

保管

適切な保管条件 容器を密栓して冷暗所に保管する。

酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。

安全な容器包装材料 法令の定めるところに従う。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 作業者が直接暴露されないように、できるだけ密閉化した設備又は局所排気装置を設ける。

取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。

管理濃度 設定されていない。

保護具

呼吸器の保護具 防塵マスク、簡易防塵マスク等。

手の保護具 保護手袋。

目の保護具 保護眼鏡。状況に応じ保護面。

皮膚及び身体の保護具 保護衣。状況に応じ、保護長靴。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态(20℃) 固体

形状 結晶 ～ 粉末

色 白色

臭い 僅かな獣脂臭

pH 情報なし

融点 57~61°C

沸点/沸騰範囲 240°C/2.1kPa

引火点 情報なし

燃焼又は爆発範囲

下限：情報なし

上限：情報なし

蒸気圧： 133Pa/174° C

比重： 情報なし

溶解度

[水] 不溶(0.568mg/L, 25° C)

[その他の溶剤] 易溶：エーテル

可溶：ベンゼン、クロロホルム、トルエン、四塩化炭素、二硫化炭素

微溶：アルコール、アセトン

オクタノール/水分配係数 8.23

自然発火温度 395°C

10. 安定性及び反応性

化学的安定性 適切な条件下においては安定。

危険有害反応可能性 特別な反応性は報告されていない。

混触危険物質 酸化剤、塩基、還元剤

危険有害な分解生成物 一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性 ivn-mus LD50 : 23 mg/kg

ivn-rat LD50 : 21,500 ug/kg

orl-rat LDLo : 4640 mg/kg

skn-rbt LD50 : >5 g/kg

皮膚腐食性／刺激性 skn-hmn 75 mg/3D-I MLD

skn-rbt 500 mg/24H MOD

眼に対する重篤な損傷／刺激性 情報なし

生殖細胞変異原性 情報なし

発がん性 imp-mus TDLo : 400 mg/kg

IARC = 情報なし

NTP = 情報なし

生殖毒性 情報なし

RTECS 番号 WI2800000

12. 環境影響情報

生態毒性

魚類：情報なし

甲殻類：情報なし

藻類：情報なし

残留性/分解性：情報なし

生体蓄積性(BCF) 1100000

土壌中の移動性

オクタノール水分配係数：8.23

土壌吸着係数(Koc)：7.2 x 10⁵

ヘリ定数(PaM³/mol)：4.9 x 10⁻²

13. 廃棄上の注意

適切な保護具を着用する。

地方条例や国内規制に従う。

焼却処理する場合には、可燃性溶剤に溶解または混合した後、アフターバーナー及びスクラバーを備えた焼却炉で焼却する。

空容器を処分する時は、内容物を完全に除去した後に行う。

処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国連分類 国連の分類基準に該当せず。

国連番号 該当なし。

輸送の特定の安全対策及び条件

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行い、法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

該当なし

16. その他の情報

このMSDSは、我々が知り得た情報を基に誠意をもって作成しておりますが、記載のデータや危険、有害性の評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。